

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 22 日 更新

事務事業名		国県道等整備負担事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	5 都市基盤の健康				所属部	都市建設部	課長名	原田 和彦
	施 策	24 計画的な道路の整備				所属課	建設課	担当者名	白濱 ひろ子
	施策の柱	66 計画的な道路の整備				所属班	維持管理班	(内線)	5256
予算科目		会計一般	款 8	項 2	目 3	事業連番 10056	根拠法令	地方財政法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・地方財政法第27条（都道府県の行う建設事業に対する市町村の負担金）に基づく負担金支払い事務 ・国・県道は市町村内の住民の主要な生活道路となるが、県では地元住民の要望が聞こえにくいことから、地元住民と密に接している市町村より地元の声を聞きその要望に応えようというものである
【業務の流れ】	県への要望箇所への調査・取りまとめ、協議、県より負担金の納入依頼、支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	地元自治会及び住民からは要望に対する進捗状況の問い合わせや、早期対応を求めた意見が寄せられている

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
県への要望箇所(国・県道、河川等)を調査し取りまとめ、協議を行った。また、県が施工した国県道等の整備に伴う地元負担金を適正に処理した。		県への要望箇所(国道、県道、河川等)の調査・取りまとめ、協議を行う。県に負担金を支払う	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 要望箇所路線数	本	県の整備事業費増に伴う負担金の増	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
⇒ ア 国・県道・河川		⇒ ア 要望箇所数	本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
⇒ ア 国道及び県道の改良及び維持を行うため整備事業費の一部負担を行い道路の保全を図る		⇒ ア 施工箇所数	本
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
未着手箇所についても、早期に着手できるよう要望を行っていく			
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	本	10	10	10	9	10	10	10	10
	イ									
	⇒ ア	本	33	34	30	30	30	30	30	30
	⇒ イ									
② 対象指標	ア	本	2	2	6	1	6	6	6	6
	イ									
	⇒ ア	本								
	⇒ イ									
③ 成果指標	ア	本								
	イ									
	⇒ ア	本								
	⇒ イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	450	1,200	900	900	1,200	1,200	1,200
		(A) 事業費計	千円	450	1,200	900	900	1,200	1,200	1,200
		(A)のうち指定経費	千円	450	1,200	900	900	1,200	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	6	7	5	7	5	5	5
		延べ業務時間	時間	1,080	1,240	630	1,060	630	630	630
		(B) 人件費計	千円	4,222	4,719	2,509	3,860	2,509	2,509	2,509
	トータルコスト(A)+(B)		千円	4,672	5,919	3,409	4,760	3,709	3,709	3,709

事務事業名	国県道等整備負担事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 合志市から県への要望箇所（国道、県道、河川等）を取りまとめ、協議を行った
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 ・国道、県道において安全に通行できるように早期着手の要望を行っていく ・災害から市民の生命、財産を守ることを目的に河川、急傾斜地の早期整備の要望を行っていく
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 県及び市の予算との兼ね合い、また年間事業数には限界があるため向上余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 県からの工事施工負担金という観点から削減余地はない
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在のやり方が適切である
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全ての道路利用者に公平・公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 国、県道、河川の改良、維持事業に伴う負担金支払い事務のため移行できない

3 評価結果の総括（CHECK）

- ・国・県道整備に関する要望は頻繁にあるが、県としては年 1 回（9 月ごろ）の単県要望時に出して欲しい旨の回答をしてくる
- ・危険を伴う緊急性を必要とする事案も多く、県と連携を密にしながら対応していくことが重要である。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						